

「多彩な職業人」を育てる 大阪経済大学 就活ニュースレター2017 vol.1

**大阪労働局モデル事業「就労型インターンシップ」が8月スタート
初の参加校として3年生を派遣**

～学生の就労環境の改善、インターンシップ中の収入の確保及び人手不足分野の業界理解促進を目指し、
受け入れ先企業と雇用契約を結ぶ有償のインターンシップ～

大阪経済大学（学長：徳永光俊／所在：大阪市東淀川区大隅 2-2-8）では、「就職に強い大経大」として多彩な職業人を育成するため、4年間一貫したキャリアサポートプログラムで学生のバックアップを行っています。

今回のニュースレターでは、大阪労働局が新たに実施する「就労型インターンシップ」によるキャリア支援についてご紹介します。

■急増・乱立するインターンシップ。学生の就労環境、経済的負担など様々な課題も発生。

大学生の就職環境は、平成29年4月1日現在で内定率97.6%と統計開始以来、過去最高を記録しました。しかし卒業後3年以内離職率は31.9%と高止まりしています。（出典：厚生労働省）

このような中、学生の就業体験を通じて職業理解を促して就職後のギャップを小さくすることで適切な職業生活を送れるようにするためインターンシップの役割が期待され、その多くは無償で職業教育の一環として行われてきました。しかし近年、乱立する1dayインターンシップの影響で、実習時の学生の就労環境が変化しており、リアルな就労経験からほど遠いという現実が問題となっています。

■大阪労働局モデル事業「就労型インターンシップ」が始動。本学は初の参加校として、8月より3年生を派遣。

大阪経済大学は、大阪労働局がモデル事業として、本年度8月よりスタートする「就労型インターンシップ」に3年生を派遣します。同事業「就労型インターンシップ」への学生派遣は、本学が初の参加校となります。

8～9月の各社5日間、実習生と企業が雇用契約を結び有償で、それぞれ異なる業種の受け入れ先企業（高松テクノサービス株式会社、株式会社ミライト・テクノロジーズ）へ派遣します。

【就労型インターンシップに期待する効果】

- ① インターンシップ中の収入の確保。
- ② 現実的な就業経験を積むことで、学生と企業 mismatches を防ぎ、就職後の離職率低減へつなげる。
- ③ 雇用契約を結ぶことで、派遣先で学生がお客扱いをされず、より就業に近い経験ができる。
- ④ インターンシップを行いながら収入を得られるため学生に対する誘引効果が高く、人手不足分野の業界理解促進にもつながりやすい。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

大阪経済大学 総務部広報課 田中 TEL:06-6328-2431 miyakot@osaka-ue.ac.jp (夏季休業:8/11～8/20)

大阪経済大学 広報デスク (プランニング・ポート内) 福嶋、澤田、井上 TEL:06-4391-7156

<http://www.osaka-ue.ac.jp>

※インターンシップ期間中の学生・受け入れ先企業への取材をご希望の方は、
上記広報デスクまで御連絡をお願いします。

大阪市労働局モデル事業「就労型インターンシップ」概要

■実習対象者 大阪経済大学3年生 3名

■インターンシップ受入先企業、期間

(1) 高松テクノサービス 株式会社

所在地：大阪市北区大淀南1-4-4

業種：建築リフォーム工事業

実施期間：平成29年8月21日～30日の間の5日間

その他：ユースエール認定企業

(2) 株式会社 ミライト・テクノロジーズ

所在地：大阪市西区江戸堀3-3-15

業種：電気通信・信号装置工事業

実施期間：平成29年9月4日～8日の5日間

その他：えるぼし認定企業（3段階）